

# いのまき

## 議会だより

No. 55

平成30年5月16日発行

平成30年度予算可決 .....	1
各常任委員会審査 .....	6
施政方針に対する質疑 .....	9
17人が一般質問で市政を問う .....	13



『石巻小学校  
6年生のみなさん』



議会傍聴

平成30年度予算 可決

「発展期の礎予算」  
「再生期」から「発展期」へ

前年比11・4%減

当初予算総額2479億9千万円

「震災復興基本計画」の「再生期」から「発展期」へ移行する年度として、10年間の「総仕上げ」に向けた新たな段階に入ることを再認識し編成した平成30年度当初予算は、一般会計の総額が、1517億7千万円で、前年度当初予算に比べ37.3億4千万円、19・7%減となり、各種特別会計を含む総額は対前年度比11・4%減の2479億9千万円となった。

これまでの復興事業の進展により、住まいの再建、地域コミュニティの再生、産業基盤の整備など大きな成果を得てきたが、復興の新たなステージに応じた被災者支援、半島拠点エリアの整備など、引き続き復興事業の推進を図るため、「震災復興基本計画」に掲げた施策が重点的に編成された。

### 歳入

市税の現年度分は、対前年度比4・5%増の178億8千万円となった。地方交付税は、351億1千万円で対前年度比15・5%減、国庫支出金は230億5千万円で対前年度比2・7%の増、県支出金は51億7千万円で12・8%の減、市債は88億円で対前年度比7・7%の増となった。

### 歳出

投資的経費は、複合文化施設や蛇田支所等複合施設の整備により単独事業は増となるものの、復興公営住宅整備事業や新市街地の宅地供給の進捗により補助事業が減となったため、629億6千万円、対前年度比23・1%の減となった。

# 1,517億7千万円の使いみち

## ■平成30年度各種会計予算のあらまし

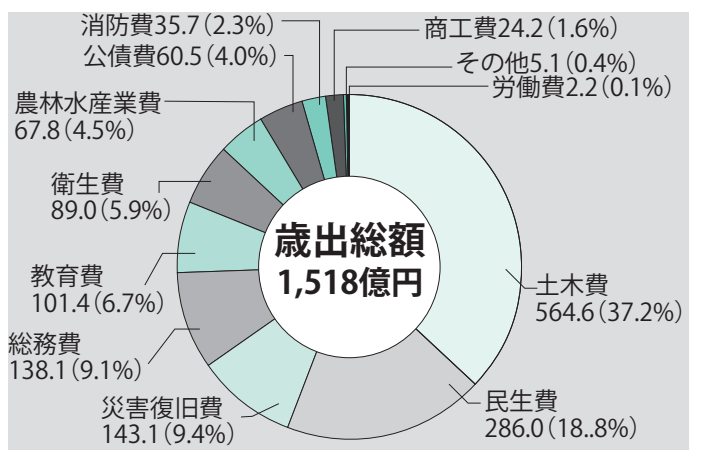
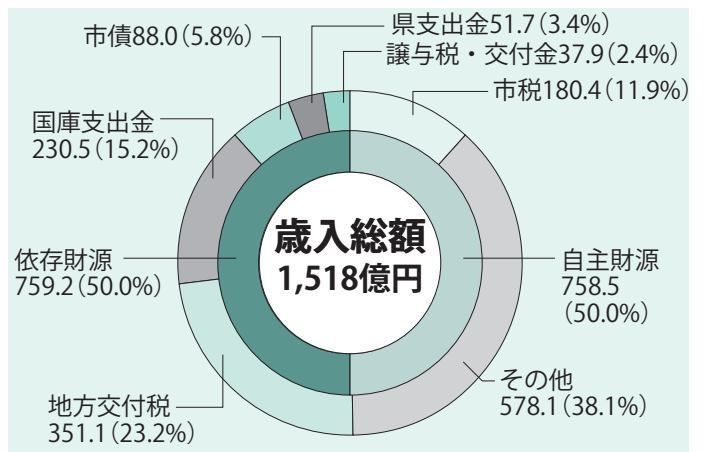
会計区分	予算額 (千円)	前年度比 (%)
一般会計	151,770,000	▲19.7
復旧復興分	81,364,934	▲32.6
通常分	70,405,066	3.0
特別会計	90,271,931	6.1
内		
土地取得	1,006,665	▲23.6
水産物地方卸売市場事業	393,547	▲13.3
下水道事業	47,694,644	26.7
漁業集落排水事業	26,009	2.6
農業集落排水事業	469,469	▲5.6
浄化槽整備事業	104,190	▲32.5
市街地開発事業	7,601,468	▲23.0
産業用地整備事業	290,670	36.0
国民健康保険事業	16,723,063	▲16.6
後期高齢者医療	1,811,511	▲1.1
介護保険事業	14,150,695	8.3
病院事業会計	5,950,977	4.6
合計	247,992,908	▲11.4



▲予算案を諮る丹野清議長

## ＜一般会計予算の内訳＞

単位：億円



## ■平成30年度当初予算の主な事業

災害派遣職員関係費	26億4979万円
自立支援給付費	28億0927万円
生活保護各種扶助費	25億4650万円
被災者住宅再建補助事業費	32億2405万円
津波浸水区域被災住宅支援事業費	14億7830万円
漁業集落防災機能強化事業費	22億2554万円
基盤整備事業関係費	10億5018万円
地域再生拠点エリア整備事業費	16億5553万円
低平地整備事業費	66億7795万円
渡波稲井線街路整備事業費	29億9250万円
(仮称)鎮守大橋整備事業費	21億0800万円
釜大街道線街路整備事業費	16億2500万円
市営住宅管理運営基金費(積立金)	41億8526万円
復興公営住宅整備事業費	41億0260万円
防災集団移転促進事業費	84億8513万円

# 第1回例会

平成30年第1回定例会は、2月14日から3月16日までの31日間にわたり開催され、市長の施政方針演説とこれに対する各会派の代表質疑が行われたほか、平成30年度各種会計当初予算をはじめ、条例、平成29年度各種会計補正予算など市長提出議案101件、委員会提出議案1件、計102件の議案が提出されました。  
審議の結果、すべて原案のとおり可決・同意等されました。

## 第1回定例会に提出された

### 議案と審議結果

#### 予算 (原案可決)

- 平成30年度
  - 石巻市一般会計予算
  - 石巻市土地取得特別会計予算
  - 石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
  - 石巻市下水道事業特別会計予算
  - 石巻市漁業集落排水事業特別会計予算
  - 石巻市農業集落排水事業特別会計予算
  - 石巻市浄化槽整備事業特別会計予算
  - 石巻市市街地開発事業特別会計予算
  - 石巻市産業用地整備事業特別会計予算
  - 石巻市国民健康保険事業特別会計予算
  - 石巻市後期高齢者医療特別会計予算
  - 石巻市介護保険事業特別会計予算
  - 石巻市病院事業特別会計予算
  - 石巻市一般会計補正予算(第1号)
- 平成29年度
  - 石巻市一般会計補正予算(第7号)(第8号)
  - 石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)
  - 石巻市下水道事業特別会計補正予算(第6号)
  - 石巻市漁業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
  - 石巻市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
  - 石巻市浄化槽整備事業特別会計補正予算(第4号)
  - 石巻市市街地開発事業特別会計補正予算(第5号)
  - 石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
  - 石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第5号)
  - 石巻市病院事業特別会計補正予算(第2号)

#### 条例 (原案可決)

- 市長の給与の特例に関する条例
- 石巻市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例
- 石巻市農村地域工業等導入地区における固定資産税の課税免除に関する条例を廃止する条例
- 石巻市個人情報保護条例等の一部を改正する条例
- 石巻市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市市税条例の一部を改正する条例
- 石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市企業立地促進等に係る同意集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- 石巻市公共物管理条例の一部を改正する条例
- 石巻市母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び石巻市認可保育所等の保育料に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市老人憩の家条例の一部を改正する条例
- 石巻市敬老祝金支給条例の一部を改正する条例
- 石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市印鑑条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- 石巻市震災復興土地地区画整理事業施行に関する条例及び石巻市被災市街地復興土地地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市道路占用料条例の一部を改正する条例
- 石巻市農業集落排水処理施設条例及び石巻市農業

#### その他

- (承認)
  - 専決処分報告並びにその承認を求めることについて(平成29年度石巻市一般会計補正予算)2件
- (原案可決)
  - 指定管理者の指定について(石巻市かわまち交流拠点施設)財産の無償譲渡について 4件
  - 業務委託契約の一部変更について
  - (石巻市新門脇地区被災市街地復興土地地区画整理事業)財産の取得について(中瀬公園整備事業用地)
  - 財産の取得の一部変更について
  - (石巻市営二子復興住宅(その3))
  - 工事請負の契約締結について
  - (石巻工業港運河線道路新設及び橋梁下部工新設工事)
  - (釜大街道線橋梁下部工新設工事)
  - (七窪蛇田線橋梁下部工新設(その2)工事)
  - (女川消防署雄勝出張所建設工事)
  - (相川橋橋梁災害復旧工事)
  - 工事請負契約の一部変更について
  - (仮称)観光交流施設(かわまち公共施設)建設工事
  - (金華山公園線道路改良(その2)工事)
  - (中浦橋橋梁下部工拡幅工事)
  - (釜大街道線道路新設工事)
  - (七窪蛇田線橋梁下部工新設工事)
  - (桃生中学校校舎老朽化対策工事)
  - (23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その2)工事)
  - (23年災長面漁港海岸保全施設災害復旧(その4)工事)
  - (23年災船越漁港災害復旧工事)
  - (23年災荒漁港災害復旧ほか整備工事)
  - (23年災鮫ノ浦漁港ほか1漁港災害復旧工事)
  - (23年災折ノ浜漁港海岸保全施設災害復旧ほか整備工事)

- ・(23年) 災大泊漁港災害復旧工事
- ・(釣石橋ほか) 1橋橋梁災害復旧工事
- ・(災復25―6号東2、3処理分区汚水管渠災害復旧工事)
- ・(災復38009―2号釜排水路災害復旧工事)
- ・(湊東地区) 土地区画整理事業地内雨水管渠築造工事
- ・(湊東地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠災害復旧工事
- ・(湊北地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠災害復旧工事
- ・(湊西地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠災害復旧工事及び雨水管渠築造工事
- ・(上釜南部地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠築造工事
- ・(上釜南部地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠築造(その2)工事
- ・(下釜南部地区) 土地区画整理事業地内汚水管渠築造(その4)工事
- ・(上釜南部地区) 土地区画整理事業地造成道路築造工事
- ・(下釜南部地区) 土地区画整理事業地造成道路築造工事
- ・(あらたに) 生じた土地の確認について
- ・字の区域を変更することについて
- ・市道路線の認定・廃止・変更について

## 人 事

(同意・異議がない)

- ・副市長を選任するにつき同意を求めることについて
- ↓ 菅原秀幸氏を選任することに同意
- ・教育委員会教育長を任命するにつき同意を求めることについて
- ↓ 境直彦氏を任命することに同意
- ・教育委員会委員を任命するにつき同意を求めることについて
- ↓ 今井多喜子氏を任命することに同意
- ・人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓ 高橋壽枝氏・日野ゆう子氏・木村孝禪氏を推薦することに異議がない

## 委 員 会

(原案可決)

- ・第27号議案平成30年度石巻市一般会計予算に対する附帯決議

# 第1回定例会で議決した議案の中から

## 可決された条例の中から

### ◆石巻市手数料条例の一部を改正する条例 ◆石巻市印鑑条例の一部を改正する条例

- 「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に基づき交付したマイナンバーカードを利用して、「コンビニエンスストア等における証明書の自動交付サービス」が本年7月1日から開始されることに伴い、関係する条例の一部を改正するもの。

### ◆石巻市重度心身障害者等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

- 「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が平成27年5月29日に公布され、本年4月1日から施行されることに伴い、施設入所等により、国民健康保険の住所地特例の適用を受けている被保険者が、後期高齢者医療に加入する場合において、引き続き住所地特例が適用されることから、本市の重度心身障害者等の認定を受けた当該被保険者について、医療費助成の対象者に加えるため、本条例の一部を改正するもの。

## その他の議案から

### ◆指定管理者の指定について（石巻市かわまち交流拠点施設）

- 「石巻市かわまち交流拠点施設」について、本市の観光・地場産品の販売促進等に関して実績がある「一般社団法人石巻観光協会」を、公募は行わず、平成30年9月1日から平成34年3月31日までの3年7か月間、本施設の指定管理者として指定することについて、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

### ◆財産の無償譲渡について

- 譲渡しようとする財産は、被災事業者の早期事業再開を図るため、本市の要望に基づき、独立行政法人中小企業基盤整備機構が建設した仮設作業施設で、仮設施設の建築許可に係る最大延長期間である5年を満了する本年度内の解体撤去を予定していたところ、施設利用者から継続利用の要望があり、当該利用者を会員とする石巻かほく商工会から、今後の施設維持管理の申し出があった。このことから、引き続き、被災事業者の事業継続と沿岸漁業活動の活性化を図るため、無償譲渡することについて、地方自治法第96条第1項第6号の規定に基づき、議会の議決を求めるもの。

## 可決された補正予算の主な中身は

今回の補正予算は、離島航路の維持及び経営支援に要する経費のほか、原子力災害に備えた屋内退避施設の整備、農畜産物の輸出拡大施設整備事業に対する補助金などについて、所要額を措置したもの。

また、石巻地区広域行政事務組合負担金の補正、各種事務事業の執行状況等による整理、各種特別会計への繰出金、国庫補助金等の確定に伴う歳入予算の整理なども併せて行ったもの。

### ◆総務費では

- ・民間事業者が運航する離島航路の維持及び経営支援に要する経費
- ・路線バスに対する運行費補助金

### ◆民生費では

- ・ささえあいセンター建設事業費

### ◆衛生費では

- ・石巻地方広域水道企業団災害復旧事業費負担金

### ◆農林水産業費では

- ・農畜産物輸出拡大施設整備事業費補助金（鹿又地区における、高品質・高付加価値付加機能を備えたカントリーエレベーターの整備に対する支援）

### ◆商工費では

- ・観光施設管理費（上品の郷の空調設備改修スケジュールの見直し等に伴う追加）

### ◆土木費では

- ・山崎馬鞍線・河北長尾線道路改良事業費
- ・田道町一・蛇田新橋線橋りょう整備事業費

### ◆消防費では

- ・原子力災害に備えた屋内退避施設の整備に要する経費

### ◆教育費では

- ・償還された奨学資金等を基金に積み立てるもの

## 附帯決議

第1回定例会において可決された附帯決議の内容は、次のとおりです。

### 第27号議案平成30年度石巻市一般会計予算に対する附帯決議

平成30年度石巻市一般会計予算歳出中、4款衛生費、2項清掃費、5目東日本大震災関係費において、農林業系廃棄物処理対策費にかかる支出として、2億4,800万円の予算が計上された。この事業は、東日本大震災において、放射性物質により汚染された8,000ベクレル／キログラム以下の稲わら70トンの処理に要する経費であり、この汚染稲わらについては、震災から7年を迎える現在まで、各農家で苦慮の上保管してきたものである。今後、一般ごみと混焼する試験焼却を実施し、河南一般廃棄物最終処分場に埋立保管する。その後、安全を確認した上で本焼却に移行するということである。

しかしながら、周辺住民から、健康被害や風評被害などを心配する声や一部反対の意見もある。このことから、なお一層の市民の安全、安心を確保するための対策の必要性や重要性を認識するものである。

よって、本予算の執行にあたり、下記について万全を期すように求めるものである。

#### 記

- 1 汚染稲わらの保管農家からの運搬を含む事業については、実績のある業者を選定し、慎重に行うこと。
- 2 焼却時は、排ガス・排水等の監視や環境モニタリングを適正に行い、その結果について積極的な情報提供を行うとともに、万が一異常な数値が測定されたときは、速やかに作業を中止し、安全対策を講ずること。
- 3 石巻広域クリーンセンター及び河南一般廃棄物最終処分場の見学などの要望があるときは適切に対応すること。
- 4 健康被害等の不安を抱える市民の相談に丁寧に応じること。
- 5 焼却灰の埋立保管を安全に行うとともに、保管状況について定期的な情報提供を行うこと。

以上、決議する。



提案理由の説明をする環境教育委員会  
櫻田誠子委員長

2月26日から28日の本会議で、予算や条例、補正予算などの議案が審議され、総務企画、環境教育、保健福祉、産業建設の各常任委員会に付託されました。各常任委員会で審査されたところの中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

## 総務企画委員会



平成30年度石巻市一般会計予算について

**Q** 路線バスICカード機器整備費補助金の事業概要について伺う。

**A** 乗り降りの時間短縮や利便性の向上から、ミヤコーバスの路線バス車両28台にICカード読み取り機を設置し、平成31年4月1日から運用開始となる。

**Q** 旧門脇小、大川小旧校舎に係る整備計画と立ち入り禁止措置について伺う。

**A** 整備計画については、優先交渉権者と3月下旬に契約し、地区住民とのワークショップを含めた基本設計業務の終了を秋口まで見込んでいる。その後、実施設計を行い、平成31年度中に整備工事に着手したいと考えている。

立ち入り禁止措置については、旧門脇小は施設により、立ち入り禁止となっているが、大川小旧校舎はトラロープを用いて立ち入り禁止にしているが劣化してきていることから、3月中に工事用ネット等で囲い直し、立ち入り禁止をアピールしていく考えである。

平成29年度石巻市一般会計補正予算(第7号)について

**Q** 耐浪調査業務の調査結果の周知方法について伺う。

**A** 各事業所には速やかに結果を報告し、周辺住民に対して、当該施設は避難場所として防災マップ等に記載されていることから、町内会等を通じて周知を行いたいと考えている。

## 環境教育委員会



魅力ある学校づくり事業費について

事業の内容について伺う。

**Q** 桜坂高等学校の教育の特徴である品格教育、キャリア教育、学力保証の三本柱を実践することとしており、平成29年度は品格教育として小笠原流の礼法指導やビジネスマナー教室の開講、キャリア教育として桜プロジェクト、まちなかプロジェクト、市役所プロジェクトなどの実践、学力保証としてICT教育、大学連携、課外学習などの実践を行っている。

農林業系廃棄物処理対策費について

予算の内容について伺う。

**Q** 放射性物質により汚染された1キログラム当たり8000ベクレル以下の稲わらの試験焼却及び本焼却にかかる費用を計上しており、試験焼却はベクレルが低く、量が少ないものから、県の申し合わせに基づき1日1トン未満の処理を行うこととし、机上計算した数値どおりになるか確かめた上で本焼却に移行する計画としている。

**Q** 汚染稲わら処理におけるさらなる安全性の確保について伺う。

**A** 本市では第一に、混焼処理を行うことにより、国の基準である8000ベクレルの20分の1である400ベクレル以下まで放射能の濃度を低減させて処理を行う。第二に、焼却灰を埋め立てることにより、覆土という遮蔽物を設けることで安全性を高める。第三に、容易に立ち入ることができない最終処分場に埋立保管し、人家から距離を離すことでさらなる安全な管理運営が図られると認識している。



## 保健福祉委員会



石巻市指定居宅介護支援の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例について

**Q** 事業の事務内容等について伺う。

**A** ケアプランをつくる事業所の指定、実地指導、監査があるほか、監査に基づく指定の一時停止や取り消しといった行政処分まで行う。

ささえあいセンター建設事業について

**Q** 建設及びオープンスケジュールについて伺う。

**A** 現在行っている設計変更は、本年6月末を目途に完了し、7月に入札、仮契約を経て、9月定例会で契約の承認後、10月に着工の予定である。また、工事期間は16カ月を見込み、完工は平成32年1月を目指している。オープンは、平成32年度4月当初

を予定している。

子どもの貧困対策推進事業について

**Q** 子どもの貧困実態調査の対象者及び調査項目について伺う。

**A** 対象者については、一般調査は、18歳までの児童がいる家庭の保護者であり、該当者調査は、要保護世帯、準要保護世帯、ひとり親世帯、学習支援などを利用する世帯で18歳までの児童がいる家庭の保護者及び中・高生である。また、調査項目については、国から示された貧困の状態にある子供や家庭の支援ニーズの所在を把握するための調査があり、その内容は、登校状況、勉強時間、放課後の過ごし方といった教育の支援に関する項目や世帯状況、学歴、就業、食事内容といった家庭状況に関する項目となっている。その他、自治体で実施している施策の認知度の項目や施策を利用する意向調査を考えている。

応急仮設住宅等被災者自立生活支援事業について

**Q** 応急仮設住宅に居座り続ける世帯への今後の対応について伺う。

**A** 明け渡しできる状況にもかかわらず不正利用を続ける世帯については、応急仮設住宅を管理する宮城県は明け渡しの訴訟も検討していくと思われることから、供与期限が過ぎた後の被災者には宮城県と協議をしながら対応していきたい。

## 産業建設委員会



石巻市都市公園条例の一部を改正する条例について

**Q** フットボールフィールドの使用料金の基準について伺う。

**A** 照明つきで人工芝という類似施設が少ないため、人工芝である市民球場の使用料を参考に設定した。

減免措置について伺う。

**Q** 都市公園条例施行規則にのった減免規定となる。

**A** マンガロード用ARアプリケーション開発について

**Q** 内容について伺う。

**A** マンガモニュメントに携帯電話話等をかざすとその漫画に関する映像を表示することなどができるARアプリの開発、そのアプリを利用して各モニュメントを回るスタンプラリー等を検討している。

マンガモニュメントについて

**Q** 設置について伺う。

**A** 平成30年度にモニュメントを1体制作したいと考えている。新たに設置するモニュメントは009もしくは仮面ライダーシリーズを検討しており、設置場所は立町通りの戸田海産物店周辺を考えている。

「上品の郷」の空調設備改修について

**Q** 内容について伺う。

**A** オープンから13年が過ぎ、温泉保養施設の空調に不具合が生じており、また全体的にも経年劣化が進んでいるための改修である。

「元氣いちば」との連携について伺う。

**A** 今後、両施設のみならず、かわまち交流拠点自体が観光情報発信拠点のハブ機能という位置づけのため、北上地区や今後オープンする雄勝・牡鹿地区の拠点も含めて、施設同士の連携を密接に行っていく必要があると考えている。

## 第1回定例会 起立採決のあった議案に対する各議員の賛否

議席番号	氏名	第27号議案 平成30年度石巻市一般会計予算		議席番号	氏名	第27号議案 平成30年度石巻市一般会計予算	
		修正案	原案			修正案	原案
1	佐藤 雄一	×	○	19	木村 忠良	×	○
2	高橋 憲悦	×	○	20	阿部 久一	×	○
3	楯石 光弘	△	△	21	安倍 太郎	×	○
4	首藤 博敏	欠	欠	22	阿部欽一郎	×	○
5	千葉 眞良	×	○	23	森山 行輝	×	○
6	丹野 清	—	—	24	伊藤 啓二	×	○
7	奥山 浩幸	×	○	25	高橋 栄一	×	○
8	阿部 利基	×	○	26	青山 久栄	×	○
9	阿部 正春	×	○	27	庄司 慈明	○	×
10	遠藤 宏昭	×	○	28	西條 正昭	×	○
11	大森 秀一	×	○	29	後藤 兼位	×	○
12	櫻田 誠子	×	○	30	千田 直人	×	○
13	渡辺 拓朗	×	○		賛成	3	24
14	山口荘一郎	×	○		反対	24	3
15	水澤富士江	○	×		退席	1	1
16	阿部 浩章	×	○		欠席	1	1
17	阿部 正敏	×	○				
18	近藤 孝	○	×				

※ ○：賛成、×：反対、△：退席、欠：欠席  
 ※ 丹野清議員は議長であるため採決には加わりません。



起立採決の様子（第27号議案 修正案）

## 第1回定例会に提出された陳情

■「災害公営住宅（復興公営住宅）」家賃軽減ならびに被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書

（提出者）東日本大震災復旧・復興支援みやぎ県民センター 綱 島 不二雄

■障害者の暮らしの場の充実を求める意見書採択のお願い

（提出者）障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会 会長 中 内 福 茂

■「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」マイナンバー記載の中止を求める陳情書

（提出者）宮城県保険医協会 理事長 井 上 博 之

これらの陳情は、全議員へ参考回付しました。

## 石巻市議会豆知識



### Q 附帯決議って何？

A 議会又は委員会における審議の対象である事件の議決に当って、その事件について付随的に付けられる意見や要望などを表明する決議のことです。

事実上の意見表明として、これを尊重する政治的、道義的な責務を負わせるにとどまり、法的な拘束力を有するものではありません。



## ～ 会派代表質疑 ～

# 施政方針をたぐす

第1回定例会の初日、亀山市長による施政方針演説が行われ、この施政方針に対する質疑が、2月22日と23日の両日、各会派の代表者5人により行われました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

### 施政方針要旨

#### 重点施策

- 一. 安心して暮らせるまちづくり
- 二. 産業振興と人づくり
- 三. 子育てしやすい環境づくり
- 四. 市民の健康づくり
- 五. 絆と協働の共鳴社会づくり

#### 主要な施策

- 住まいの再建
- コンパクトなまちづくり
- 災害に強いまちづくり
- 産業基盤の強化
- 企業の立地による雇用拡大
- 産業を担う人材育成
- 子育て世代の負担軽減
- 子育て施設の充実
- 出合いの場の創出
- 健康寿命の延伸
- ころと体の健康増進
- 医療体制の充実
- コミュニティ形成と人材育成
- 定住・移住の促進
- 交流人口の拡大



亀山 紘 市長

### 施政方針に対する質疑通告一覧

<p>阿部欽一郎 (ニュー石巻)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市長の政治課題に対する考えについて</li> <li>2 「安心して暮らせるまちづくり」について</li> <li>3 「産業振興と人づくり」について</li> <li>4 「子育てしやすい環境づくり」について</li> <li>5 「市民の健康づくり」について</li> <li>6 「絆と協働の共鳴社会づくり」について</li> </ol>	<p>伊藤 啓二 (公明会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安心して暮らせるまちづくりについて</li> <li>2 産業振興と人づくりについて</li> <li>3 子育てしやすい環境づくりについて</li> <li>4 市民の健康づくりについて</li> <li>5 絆と協働の共鳴社会づくりについて</li> <li>6 行財政運営プランについて</li> </ol>
<p>千田 直人 (石巻復興の会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「市政運営の所信と施策」の概要について</li> <li>2 「安心して暮らせるまちづくり」について</li> <li>3 「産業振興と人づくり」について</li> <li>4 「子育てしやすい環境づくり」について</li> <li>5 「市民の健康づくり」について</li> <li>6 「絆と協働の共鳴社会づくり」について</li> <li>7 「発展期の礎予算」編成について</li> </ol>	<p>水澤富士江 (日本共産党 石巻市議団)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「安心して暮らせるまちづくり」について</li> <li>2 「産業振興と人づくり」について</li> <li>3 「子育てしやすい環境づくり」について</li> <li>4 「市民の健康づくり」について</li> <li>5 「絆と協働の共鳴社会づくり」について</li> </ol>
<p>青山 久栄 (創生会)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 政治姿勢について</li> <li>2 安心して暮らせるまちづくりについて</li> <li>3 産業振興と人づくりについて</li> <li>4 子育てしやすい環境づくりについて</li> <li>5 市民の健康づくりについて</li> <li>6 絆と協働の共鳴社会づくりについて</li> <li>7 予算編成について</li> </ol>		



ニュー石巻(会派会長)  
阿部 欽一郎 議員

**問** 市長の専権事項である人事の在り方に物申したい。水産業を石巻市は軽視している。なめていると言われていることに対しての見解は。

**答** 水産業を決して軽視はしていない。水産担当には経験の浅い職員もいるが、相互の信頼関係を築けるよう、日々精進している。

**問** 電源交付金4億円の対象事業である養殖残渣物再資源化処理施設が、頓挫した理由とは。

**答** 窓口である宮城県漁協からランニングコスト等の理由で辞退の申し出があった。今後ミール会社がワカメの残渣処理の業務を担う。

**問** 市長が本当に水産が基幹産業の一つであるというのであれば、水産のプロを担当課に配置するなど人事で決意を示すべきだがいかに。

**答** 水産部門への職員の体制強化は必要であると認識しており、今後も水産行政に精通した職員の養成や採用に努めてまいりたい。

**問** 被災した半島沿岸部の未利用低平地を活用してのパークゴルフ場の整備地域と規模は。

**答** 雄勝「味噌作地区」、北上「追波地区」、牡鹿「鮎川地区」を検討、18ホールのプレーが可能で2ヘクタール程度の規模を計画している。

**問** 新規事業である津波浸水区域被災住宅小規模補修補助金交付事業について伺いたい。

**答** 今年度に限り、百万円以内の小規模補修を対象に、原則50万円を上限とした補助事業。

**問** 復興住宅の家賃低減事業を推し進める背景とは。

**答** 今年度から家賃負担が上昇するが、復興住宅入居者の8割が低減の対象者で生活再建の途上であること。また、収入超過者の多くは40歳代後半の世帯であり、地域コミュニティの中心的役割を担うことが期待されることからさらに一定期間家賃負担の軽減を行うもの。

**問** 子育て世代の負担軽減策について伺いたい。

**答** 小学校入学祝い金の支給対象を広げ、第2子以降にも3万円支給する。子ども医療費ではこれまでの入院分に加えて、中学生までの通院についても所得制限を撤廃する。子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることのないよう引き続き学習支援事業を実施する。



石巻復興の会(会派会長)  
千田 直人 議員

・市政運営の所信と施策の概要について

**問** 魅力と活力ある発展期へ「一徳一心」の取り組みと「気骨稜稜」での市政運営とは。

**答** 新しい石巻の創造をめざし、市民と共に1日も早い復興を必ず成し遂げる覚悟。

・「安心して暮らせるまちづくり」について

**問** 証明書等「コンビニ交付サービス」を本年7月稼働開始だが、コンビニ納付の実績は。

**答** 市税・国保税などコンビニ取り扱い割合は34%、各種証明書交付に向けてシステム構築中。

・「産業振興と人づくり」について

**問** 水産加工業は原魚高騰、労働力不足、販売不振、ニーズに合った補助金など施策は。

**答** 関係団体や関係機関と連携し、水産加工業者のニーズに合った支援策を実施する。

・「子育てしやすい環境づくり」について

**問** 小学校入学祝い金支給の第3子から第2子への拡充対象人員について、また第1子から実施の考えは。

**答** 支給対象を第2子拡充で560人、子育て世代の負担軽減で第1子からも選択肢である。

・「市民の健康づくり」について

**問** 生活習慣病予防は40歳代及び50歳代を対象だが30歳代及び60歳代に拡大しは。

**答** 対象年齢拡大は、今年度までの結果を踏まえ効果的な事業について検討する。

**問** 市立病院の経営安定化について、運営状況と医師の確保及び診療科目の増設は。

**答** 患者数は入院・外来増加傾向、医師は外科、循環器内科医、放射線診断医3人採用、増設は眼科と耳鼻咽喉科を週2回行う。

・「絆と協働の共鳴社会づくり」について

**問** 大型客船誘致活動及び寄港歓迎イベントを実施、経済効果と感動する歓迎イベントは。

**答** 昨年度は過去最多の4回寄港、経済効果は一人約1万2千円、今年度は6隻入港予定。

・発展期の礎予算について

**問** 財政運営の環境は厳しい、実効性ある行財政改革の実現は。

**答** 経常的経費の抑制や真に必要な施策を厳選し持続可能な財政運営を行う。



創生会(会派会長)

青山 久 栄 議員

**問** 庁舎1階の再公募について、同場所での営業継続を望んでいる事業者への配慮は引き続き盛り込むのか再公募の時期と内容について伺う。

**答** 新たなキーテナントが入居しやすいよう条件を見直した上で公募する予定であり、既存テナントの配慮も含め、早急に方針を決めたい。

**問** 宮城県合同庁舎、東部土木事務所の移転跡地を、市として街づくりになど生かしていくのか。県との協議が必要であるが、考え方を伺う。

**答** 土地利用については、昨年から宮城県と協議しており、県の意向を踏まえながら市としての活用の可能性を検討していきたい。

**問** 北上白浜海水浴場が本格的開設となるが、地引網の復活をどう考えるのか。また、近隣のフィールドミュージアム等との共鳴、相乗効果をどう図るのか。

**答** 漁業体験機会の創出やレクリエーションの場として復活したい。「川のビクターセンター」が行う自然体験等と連動して、賑わいを創出したい。

**問** 北上にっこり地区に橋浦・吉浜の統合保育所が(仮称)北上こども園として整備される。従来の保育所とどう変わるのか伺う。

**答** 保育の必要性にかかわらず、すべての児童が利用可能となる。また、認定事由が喪失した場合でも引き続き施設を利用でき、利便性が高まる。

**問** パークゴルフ場を被災地域に5カ所整備する予定だが、整備内容と規模、管理手法について伺う。また、公認コースを備えた施設は検討されているか。

**答** 規模は18ホール程度を計画しており、地域コミュニティの醸成を図るため、地元住民による維持管理を目指しており、簡易的な整備の予定である。

**問** 先の議会で、市立病院での眼科や耳鼻科、皮膚科に対する取り組みが示されたが、今年度はどのような取り組みがなされるのか伺う。

**答** 眼科と耳鼻咽喉科については、今年度の早い段階で診療を開始できるように診療環境の整備を進める。皮膚科については、応援医師の要請を引き続き行う。

**問** 地域包括ケアを推進する上で、事業者の人材不足や利益追求のため、レベルの低い介護サービスになっていないか懸念される。事業者の指導は万全か。

**答** 介護事業者には、集団指導や実地指導を行うとともに、従事者研修を充実させ介護の質の向上に努めている。なお、保険者機能の強化を図る。

**問** 過去5回のツール・ド・東北の開催により、サイクルツーリズムが定着してきた。レンタサイクルシステムの構築とともに、モデルコースとなる道路の整備も喫緊の課題である。どのように対応するのか伺う。

**答** 先般、スポーツバイク等を購入したところであり、本年4月からの運用開始を目指す。また、道路管理者に対し、自転車レーン設置等の要望活動を行う。



公明会(会派会長)

伊藤 啓 二 議員

・安心して暮らせるまちづくりについて

**問** ①在宅被災者支援の事業内容と周知について。②避難所担当職員制度の導入について。

**答** ①住宅再建補助金が活用できていない被災世帯に、原則50万円を上限に補助する。市報・個別通知や訪問支援により周知する。②津波警報等が発表された際、夜間・休日の対応として、避難所近隣に居住する担当職員を指定し、避難所開設や運営を行う。

・産業振興と人づくりについて

**問** ①農業及び漁業の担い手育成支援について。②雇用創出事業の改善策について。

**答** ①農業については、北上・桃生地区に担い手センターを整備。漁業については茨浜地区他3カ所に整備し、現在10人が研修中。②指摘の通り、収入を得ているテレワーカーが少ないため、受託事業所と連携して収入の向上・安定化に取り組みしていく。

・子育てしやすい環境づくりについて

**問** ①子どもの貧困対策について。②長年、改善されない保育所・放課後児童クラブの待機児童について。

**答** ①実態調査を行い効果的な施策を検討する。②本年は3カ所に認可保育所を開所し、定員増となるが29人待機となる。放課後児童クラブは、指導員の積極的な確保に努め改善していく。

・市民の健康づくりについて

**問** ①大震災から7年が経過し、被災された方々の健康、こころのケア等について。②病院事業の経営安定化について。

**答** ①「まちの保健室」や「からころステーション」等、相談支援体制を整備し、仮設・復興住宅等を訪問して支援に努めてきた。②今年度は外科及び循環器内科・放射線診断科の医師を採用し、収益環境の改善に努める。

・絆と協働の共鳴社会づくりについて

**問** ①復興公営住宅入居者の孤立防止について。②訪日外国人(インバウンド)向けSIMの無料配布事業について。

**答** ①保健師等の訪問による健康調査を実施し、必要に応じて地域包括支援センターと連携して対応する。②試験的に5カ所で配布しており、正式な運用に向けて調査を行っている。

・行財政運営プランについて

**問** ①プランの進捗状況について。②ふるさと納税の返礼品についてもっと工夫をすべき。

**答** ①各年度、財務部において関係部署に対し、ヒアリングを実施しており引き続き改善を図る。②特産品選定評価委員の意見をいただき、宿泊ツアーや農業・漁業体験等を研究していく。



日本共産党石巻市議団(会派幹事長)  
水澤 富士江 議員

・住まいの再建について

**問** 震災から7年、現在でも仮設住宅に暮らす世帯数。また、強く要望してきた在宅被災者への支援について、周知、相談、支援を。

**答** 2月1日現在、プレハブ仮設に1021世帯2018人。他みなし仮設、県外も含め合計2506世帯5297人。在宅被災者への新支援事業の内容は、現在でも被災した住宅を十分に補修しきれない世帯へ、今年度に限り百万円以内の小規模補修を対象に、原則50万円を上限に補助するもの。約2800世帯を見込む。

・女川原発再稼働について

**問** 全国的に「原発ゼロ、自然エネルギー基本法案」(原自連)が発表される等の動きがある。石巻市民のアンケート結果は8割が再稼働反対です。風向き、大雪などの天候、必ず起こる渋滞等、100%実効性のある非難計画策定は無理です。規制委員会、東北電力の動きを見ると、今年が正念場です。アンケート等市民の声をよく聞いて判断をすべき。

**答** 東北電力は、原子力規制委員会への審査説明終了時期を本年5月末としている。また、避難計画は、バス協会との協議、福祉施設や医療機関における避難先とのマッチング作業、退域検査ポイント設置箇所を増設等行っているが複合災害への対応は難しい。

・放射能汚染稲わらの混焼・埋め立てについて

**問** 今になって保管農家が困っているから早くというが早急に行うべきことをなぜ今まで対策をとらなかったのか。「隔離・保管」が原則の放射能汚染ゴミ。焼却しても埋めても放射能はなくなりません。風評と健康被害を心配する処理施設周辺の人の声に耳を傾け、また99・9%セシウムをとらえるバグフィルターに疑問を投げかける専門家もいます。安全神話に陥ることのないようにすべき。

**答** 隔離・保管は困難。国の特措法によりガイドラインが設けられ、それに沿って行う。

議会の動き

2月

- 1日 埼玉県議会行政視察来石  
秋田県由利本荘市議会行政視察来石
- 5日 埼玉県上尾市議会行政視察来石
- 6日 山形県高島町議会行政視察来石
- 7日 全国市議会議長会基地協議会総会
- 9日 宮城県議会大震災復興調査特別委員会県内調査
- 13日 議会運営委員会
- 14日 第1回定例会開会(施政方針演説)
- 21日 議会運営委員会
- 22日 本会議(施政方針に対する質疑)  
議員会役員会
- 23日 本会議(施政方針に対する質疑)  
議員会総会
- 26日 本会議(条例案等審議)
- 27日 本会議(当初予算案等審議)
- 28日 本会議(追加議案等審議)

3月

- 2日 総務企画委員会

- 5日 環境教育委員会
- 6日 保健福祉委員会
- 7日 産業建設委員会
- 8日 議会運営委員会
- 12日 本会議(一般質問)  
議会改革推進会議
- 13日 本会議(一般質問)  
総合防災対策特別委員会  
東日本大震災復興創生特別委員会  
地方創生推進特別委員会
- 14日 本会議(一般質問)
- 15日 本会議(一般質問)
- 16日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案  
審議、閉会)
- 19日 千葉県市川市議会行政視察来石
- 27日 兵庫県川西市議会行政視察来石
- 29日 東京都中野区議会行政視察来石

4月

- 2日 東松島市副市長来訪
- 19日 東北市議会議長会定期総会
- 25日 東京都板橋区議会行政視察来石
- 26日 静岡県議会行政視察来石



# 一般質問

議員17人が登壇

## 市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、3月12日、13日、14日、15日、16日の5日間行われました。今回は17人の議員が市政全般にわたり市当局の見解を明らかにしました。その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは、質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

### 一般質問通告一覧

(※議員名の前に付いている番号は質問順序です。)

#### ①遠藤 宏昭

- 1 成人式のあり方について
- 2 かわまち交流拠点の整備の現況について

#### ②阿部 利基

- 1 石巻が存続するための提言
- 2 石巻に住んでよかったと実感してもらおうための提言
- 3 石巻が発展するための提言

#### ③森山 行輝

- 1 沼津貝塚、毛利コレクション等、石巻市の文化財について

#### ④山口 荘一郎

- 1 人口減少社会の中で計画的に小さくなるために

#### ⑤阿部 浩章

- 1 部活動指導員について
- 2 複合文化施設整備事業について
- 3 山下地区の山下屋内運動場について
- 4 パークゴルフ場整備事業について
- 5 水産振興事業のさけふ化放流事業について

#### ⑥佐藤 雄一

- 1 石巻川開き祭りについて
- 2 陸上競技場について
- 3 農林業系廃棄物の処理について
- 4 法定外公共物の維持管理について
- 5 地域過疎化・交通弱者対策について
- 6 待機児童問題について

#### ⑦近藤 孝

- 1 政治姿勢について

#### ⑧後藤 兼位

- 1 復旧・復興加速の課題と行財政運営について

#### ⑨高橋 栄一

- 1 富士川・皿貝川に排水機場の設置を国・県に要望することについて
- 2 震災伝承への取り組みについて

#### ⑩千葉 眞良

- 1 観光案内所について
- 2 在宅被災者について
- 3 湊地区の諸課題について
- 4 人事課題について

#### ⑪渡辺 拓朗

- 1 復興需要終盤後の地域経済について
- 2 市民生活基盤の充実について

#### ⑫櫻田 誠子

- 1 高齢者支援について
- 2 障がい者施策について
- 3 マイナンバーについて

#### ⑬阿部 正敏

- 1 観光政策における北北上運河の活用及び認知度を上げる取り組みについて
- 2 県道2号線改良工事及び原発事故避難道としての役割について
- 3 昨年の台風21号被害による県道2号線大原浜地区の被害状況と繰り返し発生する可能性が高い豪雨による災害対策について

#### ⑭庄司 慈明

- 1 あるべき汚染稲わらへの対処方法  
- 低線量被ばくを少しでも避けることが、子どもたちの未来を護る -
- 2 市長の政治姿勢を問う  
- 市民に寄り添う市政とは -

#### ⑮西條 正昭

- 1 石巻南浜津波復興祈念公園について
- 2 石巻～新庄・酒田間の道路整備について
- 3 つくり育てる水産業の振興について
- 4 東京五輪・復興「ありがとう」ホストタウン誘致について
- 5 河北・北上地区の諸課題について

#### ⑯楯石 光弘

- 1 超高齢社会への対応策について
- 2 おらほの文化の伝承と複合文化施設について
- 3 汚染稲わらの焼却処分について

#### ⑰高橋 憲悦

- 1 地域の灯り（光）を消さないための諸施策について  
何う



遠藤 宏昭 議員

・成人式のあり方について

問 平成30年石巻市成人式7地区の新成人の参加者数及び出席率はどれほどか。

答 7地区全体での参加者は1223人、出席率は約75%。

問 手作りの成人式を運営する新成人による「実行委員会」のメンバーに対し、ねぎらいの言葉はもちろんのこと、努力が報われるような記念品を贈るべきと考えるがいかがか。

答 議員からの提案（万年筆やカードケース）を受け、主催者として検討したい。

問 石巻専修大学を会場に行われた「石巻地区成人式」において、ごく一部の新人による傍若無人な振る舞いにより、多くの参列者が嫌な思いをしました。ステージに上がってふざけたり、市長の式辞に対し、「夢も希望もねえよ」とヤジを飛ばしたり、ホイッスルを鳴らしたりと散々でした。今回のような問題行動に対し、今後、きちんとしたマニュアルを作成し、厳格に対応すべきと思うが協議はされたのか。

答 大変残念であり、重く受け止めている。議員の指摘を受け、職員の配置体制を見直し、再発防止に努める。

・かわまち交流拠点の整備について

問 「いしのまき元氣いちば」周辺を観光ハブ機能として位置付けるのであれば、JR石巻駅周辺地区とを結び「観光周遊バス」を導入すべき。

答 拠点間の交通アクセスが重要であり、利便性の高い交通網を確立したい。



▲かわまち立体駐車場



阿部 利基 議員

・石巻が存続するための提言

問 他市では、電話窓口の待機時間を使い、自分の市のPRや文化発信を行っている。観光にかじを切っている本市でもやってみてはどうか。

答 待機時間の少ないように対応している。議員の提案は検討してみたい。

提言 今後の存続のためには市役所組織の改革が必須である。まずはこういう身近なところから徹底していかねば、市の存続はないと感じる。

・石巻に住んでよかったと実感してもらうための提言

問 本市でかつて地域通貨を議論した議事録がある。仮想通貨の技術はそれに応用が効き、他自治体でも実証実験を行っている。本市でもやってみてはどうか。

答 面白い提案だが難しい。

提言 アイディアとして提言したい。本市の市民満足度を向上させるには他市のマネではなく、他市に先んじて政策を行う気概が必須かと思う。そういう公務員を育成していくべきだし、それを後押しできる行政、議会になるべき。

・石巻が発展するための提言

提言 本市のイベントは一過性で終わりがちで、各事業の目的が見えてこない。究極的には雇用を生み、市民生活の福祉の向上こそが目的であり、その達成のための事業である。昨今の不祥事や姿勢、議会対応を見ていると、こなせばいい事業となっていないだろうか。

市長中心に行政の目的、市政の到達点はどこにあるのかを見極めて、市を前に進めていただきた



森山 行輝 議員

・沼津貝塚、毛利コレクション等、石巻市の文化財について

問 ①国の大遺跡沼津貝塚と、国際的にも一目置かれていた毛利コレクションについて、市の見解を伺いたい。

答 ②沼津貝塚の現状についてお示し下さい。③毛利コレクションの現状についてお示し下さい。

④当市の板碑について現状をお示し下さい。⑤海門寺公園に建ててある佐藤文輔翁の公共紀功碑について、親族の方々が地元に移したいという意向を示しています。可否は。

答 沼津貝塚は、遺跡全体が文化財保護上欠くことのできないものとして国指定史跡に指定されており、歴史的、学術的に貴重な史跡として後世に引き継ぐ大事な資産、経済情勢の変化や震災で足踏みしているが、議員の提言もあり、今回経費を計上し、国との協議に入りたい。

毛利コレクションは、東北大に移譲された沼津貝塚出土品等、国の重要文化財に指定されたものから、歴史資料、民族資料、考古資料、美術資料、アイヌ資料等があり、これらの中には、毛利コレクションにしか見ることのできないものも含まれている。震災後は、東北歴史博物館に保管中。



山口 荘一郎 議員

**問** 当分続く人口縮小傾向の中では、住民の力を借りた行政運営が不可欠だ。地域自治システムを精神論ではなく具体的な行政計画で示すべき。

**答** 今後、具体的計画と段階的ロードマップを定めていく。

**問** 互助力のある島半島沿岸部でこそ地域包括ケアを進め、市内の医療・介護の均衡を図るべき。

**答** 離半島部では新たな好事例もあり、早期の取り組みについても総合支所と連携を取っていく。

**問** 人口を増やすには第3子の出産が必要だが、兄弟が増えると進学率が低くなる傾向がある。学力向上効果も視野にいれ、第3子出産世帯には兄弟も含めて大学入学準備金度を支給してはどうか。

**答** 出産しない理由は様々にあり、政策効果を含めて、今後勉強する。

**問** 奨学金制度の維持には滞納金回収率向上が必要だ。督促を納税課に集中化しては。

**答** 復興事業を優先する中で現状でも人員が不足している。今後、適正人員配置を検討する。

**問** 放課後児童クラブの安易な利用が目立ち、本来必要とする世帯が待機するという事例がある。収入判定せずに7年前の罹災証明だけで判定するという放課後児童クラブ被災者免除制度は早期に正常化するべき。

**答** 地域からも不公平感の声が出ている。二重ローンなどで苦しむ方もいるが、平成30年度では仮設住宅の供用期限を迎えることもあり、平成30年度中に一定の方向性を打ち出す。



阿部 浩章 議員

**・水産振興事業のさけふ化放流事業について**

**問** 後川さけ人工ふ化場と大原川さけ人工ふ化場整備事業の規模や今後の運営方針について伺う。

**答** 大原川は、震災前の放流数に近づけることを目標に年間350万尾の生産が可能な整備で約6億円の事業費を見込んでいます。後川は、今秋の採卵に間に合うよう整備を進めているところであり、約4億円の事業費を見込んでいる。運営方針については、両施設とも、宮城県漁業協同組合に委託予定である。

**・山下地区の山下屋内運動場について**

**問** 山下屋内運動場の設備更新、改善要望についての進捗状況を伺う。

**答** 本運動場及び設備などの老朽化も含め、山下地区町内会長連絡協議会とのまちづくり懇談会から要望を受けている改善点は認識している。トイレ改修や設備更新などの改善については、早急に対応していく。

**・部活動指導員について**

**問** 部活動指導員制度の導入への検討状況と今後の考え方について伺う。

**答** 教育委員会としては、現在のところ導入について考えていない。これまで同様、外部指導者として地域の方々の存在を大切に、対応していく。

**提言** 国のガイドラインに沿って、しっかりクラブ活動も行い、勉強もして、文武両道な学校生活を送れるよう、部活動指導員の配置について、前を向いたかたちで進めるように提言する。



佐藤 雄一 議員

**・石巻川開き祭りについて**

**問** 開催日を土日に変更してはどうか。

**答** 再検討を行う必要があると考えている。

**・陸上競技場について**

**問** 現時点でどのような計画か。

**答** 総合運動公園第二工区へ整備する予定。建設予定時期は平成32年度に仮設住宅を解体整地した後となる。

**・農林業系廃棄物の処理について**

**問** 将来何かあった場合の補償等はどうか考えているか。また、保管庫ならば安心できるという声がある。最善の方法で解決できないか。

**答** 仮に健康被害等の実害が確認された場合は、国に対して一緒に補償を求めます。また、長期的に管理することができると、保管という意味では最善の保管方法である。

**・法定外公共物の維持管理について**

**問** 山地から流れ出した堆積土砂等の対策と、舗装・側溝等の整備について伺う。

**答** 随時、浚渫等対応を行う他、計画的に整備を行う。

**・地域過疎化・交通弱者対策について**

**問** バス路線再編と、都市計画区域の見直しについて伺う。

**答** 住民バスの他、乗合タクシーを運行している。都市計画区域の見直しは難しい。

**・待機児童問題について**

**意見** 保育園の待機児童問題と、保育士確保支援事業について。3月20日付の私のブログで、市民向け、お得に保育士資格を取得する方法を紹介する。



近藤 孝 議員

・放射性汚染稲わらの処理について

問 河南地区を中心に反対集会や反対署名活動が広がっている状況でも事業展開されるのか。

答 反対の主な意見として風評被害、健康影響等を心配する声があるがおおむねの方から一定程度の理解は得られたものと考えている。保管農家の負担解消を図るためにも混焼が最良の処理であると考えている。

問 最終処分場での放射能減衰と保管観察の期間は。

答 セシウム137の半減期は30年で、食品レベルまで減衰すると60年程度の保管観察を要するものと考えている。

問 放射能には「どこまでが安全という基準」がないといわれている。60年も保管観察となれば市民と共有すべき問題であり、専門家を交えながら公開討論会を開催すべきでは。

答 賛成・反対の討論会は考えていないが安全性・健康影響等について科学的知見から話を聞くことについては、検討していく。

・地域自治システムの構築について

問 亀山市政の大きな柱であり早期に方向性を示すべきと思うが。

答 行政運営が持続可能となるためにも、今後非常に重要になってくると考えており、住民協議を十分に行い方向性を示していく。



後藤 兼位 議員

・防災集団移転促進事業による移転先借地(のぞみ野、あゆみ野、あけぼの北、さくら町等)の賃貸借及び売買契約の概要について

問 石巻市は、被災者の早期再建と地域の均衡ある発展を図るため、借地料の減免措置を講じている。平成27年7月に制度改正されて減免期間は30年間で52年間に延長されたが、しかし、新市街地(のぞみ野、あゆみ野、あけぼの北、さくら町等)の借地料は、11年目以降60坪までの減免が廃止されてしまう。

例えば、のぞみ野団地の平均面積82坪で算定した場合、借地料は、契約後10年間(減免期間)年額3万円が11年目以降11万5200円になり約4倍になる。固定資産税と比較しても借地料が高い金額になる。

半島部は、31年目以降から借地料が徴収される。今後、借地料の負担を抑えるための緩和策や、土地購入がしやすくなる方策を被災者の目線に立って考えるべきだ。

市長 借地の問題も今後、11年目以降に対応していかなければならないと思っている。

・避難道路事業等の進捗状況について

問 「釜大街道線」は、一部供用開始に至り、北上運河に架かる橋脚の下部工事に平成30年度着手。

「石巻工業港運河線」は、国道45号線の一部拡幅工事と北上運河に架かる橋脚の下部工事に着手し、道路改良工事の発注に向け準備を進めている。



高橋 栄一 議員

・富士川・皿貝川に排水機場の設置を国と県に要望することについて

問 河北大川の針岡地区は東日本大震災により約80センチ地盤が沈下し、震災後7年で3度の水害に見舞われ、集落の孤立化や住宅被害、転作大豆は3度とも全滅するなど甚大な被害を受けている。

一方北上川を挟んで対岸の飯野川・北上地域でも農作物の被害や道路冠水など同様の被害を受けている。

これら二つの河川に排水機場を設置して欲しいという要望は震災以前からのものであり、長年にわたって水害に苦しんできた地域住民の安全・安心を確保するには、富士川・皿貝川から内水を強制排除するための排水機場設置が不可欠であり、関係住民の長年にわたる悲願である。

このことについて、市としてどう取り組むのか考えを伺う。

答 富士川・皿貝川ともに流末の水門により北上川との水位調整を行っており、豪雨時は北上川からの流入防止策として水門を閉鎖することになり、河川の持つ持っている貯水能力だけで被害防止をしなければならぬのが現状である。

そのため常に冠水被害が発生しており、市としても最下流部での強制排水対策は必要であると認識している。

今後は、市と土地改良区や農協・行政委員・関係住民が一体となって、要望実現のため県や国に強く働きかけていきたい。





千葉 眞良 議員

・観光案内所及び駅前公衆トイレについて

問 市の玄関口の石巻駅付近への設置について伺う。

答 本年1月から市役所1階で業務を開始した観光案内所は、庁舎改修工事に伴い本年5月末をもって閉鎖することになっており、その後の計画については未定となっていることから、6月以降の在り方について、市役所1階も含め、石巻駅及びその周辺での案内所の設置について検討していきたいと考えている。

問 駅前の公衆用トイレについて早急に洋式化すべきと考えるが、どのように考えているのか伺う。

答 現駅前駐輪場の跡地改修の時点で実施したいと考えている。

・湊の諸課題について

問 東内海橋、西内海橋の進捗状況及び課題について伺う。

答 本市が施工する「新東内海橋」については、本年度の橋梁下部工の発注に向け準備を進めているところであり、「新西内海橋」についても、県の災害復旧事業として、本年2月に橋梁下部工の契約が締結したところである。

課題としては、周辺地域は交通量が多く、かわまち交流拠点エリアに隣接しているため、安全確保への配慮や、国の河川堤防事業との施工間調整が必要となっているところである。

問 湊側の東内橋のたもと付近に駐車場が必要ではないか。

答 駐車場は必要と考えており、現在検討中である。



渡辺 拓朗 議員

・復興需要終盤後の地域経済について

問 復興需要終盤後の地域経済の不安要素が複数ある。復興需要終盤後の地域経済への懸念と対応を伺う。

答 発展期以降の地域経済を大変心配している。特に建設事業の落ち込みを想定しそれを補う産業の振興を図るために各産業別に対応策や支援策を打ち出す必要がある。

問 復興需要終盤後の地域経済の落ち込みを補う事業として観光やインバウンドを含めたオリンピックへのアピールが重要である。それに合わせた具休の事業として震災復興祈念公園事業の加速化を図るべき。

答 オリンピック開催時までには中核施設や追悼の広場はなんとかとしても完成させたい。国と県との連携を深め事業を加速させていく。

問 副業収入で復興需要終盤後の所得の落ち込みをカバーする策として「人材マッチングプラットフォーム事業」がより効果的に作用するために働く時間を幅広く提供する企業へ助成金を創設してはどうか。

答 初めての事業でもあり、まずはこの事業を広く浸透させるために既存アプリを活用した労働力マッチングシステムにおける就労希望者と企業との間で業務請負契約が成立した際に発生する手数料が企業側の負担にならないように予算を計上している。



櫻田 誠子 議員

・高齢者支援について

問 一人暮らしの世帯数の推移と支援を伺う。

答 昨年末で94.86世帯であり市全体の世帯数に占める割合は15.5%、平成22年度との比較では27.77世帯の増で年々増加している。平成30年度から要支援の方に掃除・ゴミ出し等支援の軽度生活援助訪問型サービス事業を開始。周知を図る。

問 見守り支援と社会的孤立の解決、重要では。

答 蛇田地区で平成30年度から「孤立を生まない地域づくり」をテーマに「つながりづくりの場」「学びの場」「支援の必要な人への支援」を展開し防止を図り、今後他地域でも検討する。

問 高齢者福祉アンケート調査で、地域活動に参加したい方が52.3%。岡山県総社市の「総社市60歳からの人生設計所」の取り組みを参考に生きがいづくり支援の相談窓口が必要では。

答 シルバー人材センターや老人クラブ等での活動支援をしているが、今後健康ポイントとボランティアポイントを合わせる形で後押ししたい。

・障がい者施策について

問 発達障がいには早期発見、早期治療が重要で行政での取り組み不十分として改善勧告が出された。

答 早期発見のために健診の重要性を認識し5歳児健診は検診。療育支援として、かもめ学園でペアレントプログラム等行っている。拡充に努め理解促進のためヘルプマークに取り組み。

・マイナンバーについて

問 マイナンバーカード普及と促進について

答 申請しやすい体制を整え、コンビニ住民票等の交付の他、子育てワンストップサービス電子母子手帳の利用も情報取り扱いに慎重に取り組んで行



阿部 正敏 議員

問 貞山運河石井閘門から釜開門までの整備状況について。

答 両岸の盛土、法覆護岸工と合わせ旧釜開門の撤去及び新設閘門等の工事は今年度末までに完了。石井閘門自体の復旧は完了、堤防に関連する石井水門については平成30年度内完成予定。

問 北上運河の水質について

答 閉鎖性の高い水域であるため旧北上川に比べて汚濁度の度合いが高い。

問 嘉右衛門堀からの家庭雑排水などの影響も考えられるし中里川の汚濁もひどい状況下にある。市管理下のかんがい用水での水利権しか有していないため水量が少なく汚濁が進んでいるのではないかと、水量を増やし希釈効果が進んでいるのではないかと。そのために通年通水の水質浄化を図ってはどうか。そのために仙台市では六、七郷堀での水利権を取得し川の浄化に成功して市民の憩いの場になっている。市として検討しただけはないか。

答 前向きに検討してみたい。

問 蛇田新橋の架け替えがあるようだが地域住民の意向に沿った橋になるように配慮してほしい。

答 市民に寄り添う形で整備を進める。

問 県道石巻鮎川線風越Ⅱ工区ほか復興道路整備完了により渡波駅前から鮎川までの所要時間はどの程度短縮されるのか。

答 概ね5から10分程度短縮する。

問 風越トンネルの半島部側(仮称風越Ⅲ工区)についてはいまだ白紙状態です。原発避難道として半島部住民への説明責任を果たしていないのではないか。

答 風越Ⅲ工区の早期実現に向けた要望活動を粘り強く実施していく。



庄司 慈明 議員

・放射能汚染稲わら問題にどう立ち向かうか  
—低線量被ばくを、できるだけ避ける—

問 低線量被ばくへの危険性と細胞分裂を繰り返して成長する子どもへの影響をどう捉えているか。

答 国際放射能防護委員会(ICRP)などの国際的評価では、喫煙等の他の発がん原因の中に隠れるほど小さいとされている。市の計画する処理の放射線レベルでは子どもへの影響を及ぼさないと認識している。

問 同じICRPの文章を内閣府が「どんな低い線量でも放射線量に比例してリスクは高まる」と紹介している。市の説明は、一方の見解だけの主張に基づいている。焼却時汚染物質の飛散防止に有効というバグフィルターの説明を。

答 汚染物質の重さで、99・9%を封じ込める。

主張 重量ではなく通り抜ける数こそが問題。その視点からは49・9%しか封じ込められないとも言える。pm2・5よりも小さいセシウムが通り抜ければ、肺の一番奥の肺胞に吸着し、低い線量とはいえ放射線が蓄積する危険性がある。「知識における最大の敵は無知ではなく、知っている」と錯覚すること(故ホーキング博士の言葉)。もっと、科学に対して謙虚でなければならぬ。

・市長の政治姿勢を問う  
—市民に寄り添う立場を願いながら—

問 女川原発再稼働は国において判断されるべきものと考えている。

主張 子ども医療費や国保税、災害公営住宅の家賃低減期間の延長と軽減等々、市民に寄り添う政策と評価している。同様な気持ちで市民の安全を考える。その様な市政運営を願いながら、私の最後の一般質問を終わります。



西條 正昭 議員

・石巻南浜津波復興祈念公園について  
これだけの大型事業が、平成32年度末まで完了するのか伺う。

答 公園全体面積のうち約7割、一次造成工事を進めている。国・県と連携しながら完成に向け努めて行く。

・石巻〜新庄・酒田間の道路整備について

問 太平洋と日本海を結ぶ横断道路として重要な路線である。早期事業着手に向け、どのように進めて行くのか伺う。

答 計画段階評価が早期に進むよう、関係自治体や議会、経済界と連携し要望して行く。

・つくり育てる水産業の振興について

問 安定した所得が期待出来ないため、ますます漁業従事者や後継者不足が深刻になっている。対策は考えているのか伺う。

答 不漁の要因はさまざまであり、一つの手法で一概に解決は出来ない。宮城県漁協や宮城県と連携し、必要な対策を講じて行く。

・東京五輪・復興「ありがとう」ホストタウン誘致について

問 石巻市は震災時、世界各国から支援を受けている。積極的に誘致すべきであるが伺う。

答 旧桃生町がチュニジア共和国と交流しており、また多くの支援を頂いている。今後交流が期待できることから本年3月中旬に登録申請を進めている。

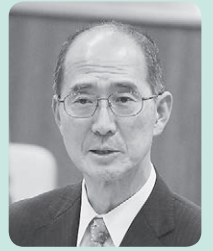
・河北・北上地区の諸課題について

問 県道河北・北上線、相野田〜牧の奥間の道路整備について伺う。

答 今後整備工法の検討等を行う予定と伺っている。事業化に向け、働きかけて行く。

問 北上漁港・白浜漁港の整備又白浜海水浴場の整備について伺う。

答 舟揚場に「すべり材」を設置する。平成30年のオープンを予定している。



楯石 光弘 議員

最大の被災地だからこそ、どこよりも一番生かされた命を大切に、ねんねんコロナからびんぴんコロナへと、一日でも長く生き抜くことが最大の供養。

・超高齢社会への対応策について

問 地元に着して無報酬で地道に献身的に活動していた民生活員さんへの市民理解度向上と、県内最低レベルの活動費の見直しを早急に検討すべきと考えるが。

答 来年度に新たに啓発事業を設け、イベント経費を計上した。活動費の増額も前向きに検討したい。

問 死因の70%以上は生活習慣病と言われる。住吉小学校の全国優良校の栄に輝いた「健康教育」の実践をたたえ、本市全体で共有し、より長期的に徹底強化すべきと考えるが。

答 保健体育を中心に教育活動全体で行っているが肥満傾向等が依然続いている。総力をあげて取り組みたい。

・おらほの文化の伝承について

問 民謡「石巻港節」と「北村大沢楽隊」は地域の宝。伝承すべき音楽文化と考えるが。

答 後藤桃水氏作曲で石巻を代表する民謡の一つ、「楽隊」も大正12年に結成され運動会等ではなくてはならない地域の宝であった。遊楽館等で伝承も検討したい。

・汚染稲わらの焼却処分について

問 当事者の立場で、信頼関係不足が依然見られる。焼却が問題との専門家もいるが。

答 本市として、混焼処理が最も低リスクと考え、広く耳を傾けながら進めたい。



高橋 憲悦 議員

・「地域の灯り(光)を消さないための諸施策」について伺う

問 街路灯、防犯灯は、市民生活において街灯と呼ばれ、その一部は地域の町内会等で負担してともにしてきたが、少子高齢化の進展や地域課題などにより、町内会等での負担が重くなってきた。街灯の維持管理について、町内会等の軽減策について伺う。

答 「街路灯」のうち、20W蛍光灯の玉切れ等は地元においていたが、来年度から街路灯のLED化により、維持管理の全てを市が行うこととする。

問 「防犯灯」は、議員ご指摘のとおりである。現状を把握、課題を整理して、軽減策等を関係部と協議する。早い時期に街路灯と同じ扱いになるよう鋭意努力し、実現を図る。

問 市民生活・まちの灯りは、行政運営がその輝きに影響します。その輝きを増すための具体策。特に、庁議の在り方について伺う。

答 職員同士の自由な意見交換や相談ができるよう取り組む。庁議や会議などで情報を共有し、横断的かつ柔軟な協力体制がとれるような職場環境に努め、庁議の見直しを図った。

問 観光は、「光り」を「観る」と書きます。観光行政の取り組みと方針について伺う。

答 「石巻観光復興プラン」を策定し、9つのプロジェクトに基づき取り組んでいる。また石巻ならではの「おもてなし」に努めている。

石巻市議会議員研修会



1月31日、議会改革の一環として石巻市議会議員を対象とした「石巻市議会議員研修会」を開催しました。

講師に政策プランナーの細川甚孝氏を招き「議会質問作成」をテーマに質問のポイント、質問作成のステップなどを研修しました。

# 本会議・常任委員会LIVE中継(生中継)

視聴の仕方は、市議会ホームページの

『石巻市議会LIVE中継(生中継)』をご覧ください。



※平成30年第2回定例会のLIVE中継(生中継)の配信予定は次のとおりです。

日 程	時 間	内 容
6月14日(木)	午後 1時～	本会議(開会、提案理由説明)
6月15日(金)	午前10時～	本会議(条例案、予算案等審議)
6月19日(火)	午前10時～	総務企画委員会
	午後 1時30分～	環境教育委員会
6月20日(水)	午前10時～	保健福祉委員会
	午後 1時30分～	産業建設委員会
6月25日(月)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月26日(火)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月27日(水)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月28日(木)	午前10時～	本会議(一般質問)
6月29日(金)	午前10時～	本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉会)

## 編集後記

寒さも彼岸までといわれますが、初夏を感じさせる陽気が続いており、桜の開花も例年より早まる予測、4月の入学式には満開の桜が新入生を出迎えることでしょう。

震災から8年目を迎え、再生期から発展期へと移行するスタートの年で、復興計画の最終ステージであります。住まいの再建を最優先課題として取り組み、防災集団移転用地や復興公営住宅も順調に進展、仮設住宅も各地で解体に着手している状況であります。今定例会は発展期へ移行するスタートの年として、活発な議論が展開されました。

さて、5月には市議会議員選挙が行われます。次回6月定例会には新しい顔触れが揃い、人口減少問題にどう対応しながら魅力ある「いしのまき」を創り出していくのか、論戦を繰り広げていくものと思います。

ぜひ、傍聴にお越しくください。

広報広聴委員会 委員 近藤 孝

## 表紙から



2月27日に石巻小学校6年生76人が社会科「市議会の働き」の学習の理解を深める目的で第1回定例会を傍聴しました。

当日の本会議は、当初予算審議であり、議員と当局とのやり取りをメモを取るなどして静かに聴いていました。

DATA 市総人口：145,386人【男：70,735人 / 女：74,651人 / 世帯数：61,216世帯(平成30年3月31日現在)】